

競 技 運 営 に つ い て

1. 試合運営について

- (1) 各試合の前に5分間の合同練習タイムをとる。(前の試合が終わったら自動的に次の試合の合同練習タイムに入る。)
- (2) 同一チームが続いて試合をする場合は、30分の休息タイムをとる。この場合5分間の合同練習タイムは30分に含むものとする。
- (3) 選手のエントリーは、JVA個人登録の方式に則り、大会参加申し込み時に提出されたメンバーとする。
- (4) 構成メンバー表の提出は、以下の通りとし、提出先は本部とする。
 - <1日目> (共通) 1回戦については、監督会議終了後、直ちに。
2回戦については、前の試合の開始前に。
(女子) 3回戦については、前の試合の開始前に。
 - <2日目> (男子) 3回戦については、監督会議終了後、直ちに。
4回戦については、前の試合の開始前に。
(女子) 4回戦については、監督会議終了後、直ちに。
5回戦については、前の試合の開始前に。
 - <3日目> (共通) 準々決勝については、監督会議終了後、直ちに。
準決勝については、準々決勝終了後、直ちに。
 - <4日目> (共通) 決勝戦については、監督会議終了後、直ちに。
- (5) 監督の変更は原則として認められないが、公務や、やむをえない場合のみ大会委員長に申し出て、了承を得られた者は認める。
- (6) コーチの変更は認められない。
- (7) マネージャーの変更は生徒間に限り認める。
- (8) 選手は同一のユニフォーム(背番号1~18を使用)とする。
リベロについては、他の選手と明らかに違うユニフォームを着用する。
- (9) コーチングスタッフは同一の服装とする。
この規則に則さないチーム役員のベンチ入りは認めない。
但し、マネージャーが生徒の場合は、チームで統一したトレーニングスーツでも差し支えない。
- (10) 各チームの監督は、必ず協会指定の審判服と笛(長・短)を用意すること。
- (11) 監督、コーチ、マネージャーは、それぞれ規定のマークを所定の位置に付けること。
- (12) ワイピングについては各チームでタオルを用意し、コート内の選手がワイピングを行う。
- (13) 試合は、ワンボールシステムで行う。(決勝戦のみスリーボールシステムで行う。)

2. 日程について

- (1) 体育館の開館(フロアでの練習開始)は4日間とも9時00分とする。
- (2) 監督会議は、4日間とも9時30分とする。

- (3) 開会式は、1日目10時00分より各会場にて行う。
開会式には、チームで統一された服装で参加する。
- (4) 1日目の第1試合は開会式終了後直ちに行う。
- (5) 2日目に開始式を10時00分より行う。第1試合は開始式終了後直ちに行う。
- (6) 3日目の試合開始は10時00分（トスの時間）とする。
- (7) 4日目の決勝戦は女子が10時30分開始（トスの時間）、男子は、13時00分開始とする。
- (8) 4日目の試合終了後に閉会式を行う。第3位については、3日目にコート表彰を行う。

3. 審判について

- (1) 規則は、2010年度、（財）日本バレーボール協会制定の6人制競技規則及び高体連競技規則で行う。
- (2) 競技者交代についてはクイックサブスティテューションで行う。
- (3) リベロについては高体連規則による。
- (4) 1日目、2日目の審判は原則として互審とするが、審判長の指示に従うこと。
- (5) 3日目、4日目の審判は、本部で指名する。
補助役員については、3日目は西部地区の高校バレーボール部員に、4日目は中部地区の高校バレーボール部員に依頼する。

4. その他

- (1) この大会参加チームの中から、優秀監督、優秀選手、優秀リベロを選考委員会で選出し、表彰する。

<選考委員会メンバー>

（協会）理事長、副理事長、事務局長、競技委員長、審判委員長、強化委員長

（高体連）委員長、副委員長、主事、強化委員長、強化副委員長

テレビ静岡、産経新聞

- (2) 決勝戦はテレビ静岡で放映されます。

- (3) 会場使用について

- 会場の使用については、利用規定に従いゴミ類は全て持ち帰ること。
- 貴重品については、各チームで責任を持って管理する。
- 物品等の破損については、弁償することを原則とする。
- 各会場とも駐車については、係および別紙プリントの指示に従って下さい。
- 各会場とも、指定場所以外での喫煙はしないようにお願いします。